

9月定例教育委員会議事録

- 1 開催日 令和元年10月1日(火)
- 2 会場 大井川庁舎 2階 第3委員会室
- 3 開会 午後2時35分
- 4 出席委員 佐藤美代志教育長
大石智之委員(職務代理者)
北川利男委員
奥川重子委員
山竹葉子委員
- 5 会議出席者 岡村敏典教育委員会事務局長
渡辺晃子こども未来部長
松永行弘(公財)焼津市振興公社常務理事兼焼津文化会館長
増田洋一教育総務課長
近藤和人学校教育課長
鈴木孝之学校給食課長
見崎孝之社会教育課長
杉本弘行文化財課長
石上睦晃図書課長
岩ヶ谷佳史保育・幼稚園課長
鈴木利明子育て支援課長
石川壽男ディスカバリーパーク焼津館長

書記 日下部充教育総務課総務担当主幹
- 6 議事 別紙のとおり

佐藤教育長	<p>【午後 2 時 35 分開会】</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>お忙しい中、9 月定例教育委員会に御出席いただき、ありがとうございます。それでは、本日の議事録署名人は北川委員と山竹委員となりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、議第 11 号、令和元年度焼津市教育委員会事業評価報告書について、説明をお願いします。</p> <p>(事前配付資料により全体の概要説明)</p> <p>(説明要旨)</p>
増田教育総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月に焼津市教育委員会事業評価委員会を 2 回開催し、委員による協議を行い報告書（案）としてまとめた。 ・ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、毎年度、総合計画の施策マネジメントシートを利用して自己点検・評価を行い、報告書を作成した。子ども・子育て支援の充実については、公立幼稚園に関する事務事業マネジメントシートを利用した。 <p>(事前配付資料により「子ども・子育て支援の充実」について説明)</p>
岩ヶ谷保育・幼稚園課長	<p>昨年まで公立幼稚園関係の資料として使用していた、「子ども・子育て支援の充実」の施策マネジメントシートは、公立幼稚園以外に関する記述が多く含まれているため、今年度は、公立幼稚園に関する部分を抜き出した「事務事業マネジメントシート」を資料として活用し、事業評価委員会においても「事務事業マネジメントシート」の内容を説明させていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公立幼稚園保育事業について <p>事業の内容は、公立幼稚園に園児を受け入れ、幼稚園教育を実施するとしており、30 年度の活動実績の活動指標は、公立幼稚園平均保育日数としており、30 年度実績は 199 日であった。対象指標は、公立幼稚園児数としており、30 年 4 月 1 日時点の園児数は 380 人であった。成果指標は、子どもの成長が見られた割合で、これは各園で保護者アンケートを実施した結果で、計画値 99% に対し、実績値 98% で目標値には届かなかったが、ほぼ達成している。上位施策の成果指標は、第 6 次焼津市総合計画の「施策 1：子ども・子育て支援の充実」の成果指標となる。評価は、関係施設と連携し子育てに対する共通理解を得ることや、職員研修事業に力を入れ職員の資質を高めること、また、支援を必要とする子が増えてきているため、職員の加配も求められている。今後の方向性のうち課題は、「入園児の面接強化・個々の子どもの課題の洗い出しを的確に行う」、「多くの教諭と協議し、子どもの成長過程を極めていくため適切な人員配置を協議する」などが挙げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園維持管理事業について

事業の内容は、公立7園の維持管理を行うこととしており、消耗品・光熱水費・役務・委託等の事業を実施するとしている。30年度活動実績の活動指標は、修繕等を実施した幼稚園数としており、30年度実績は7園すべて実施した。対象指標は、公立幼稚園数と園児数としている。成果指標は、幼稚園の建物設備と器具の修繕件数と備品購入件数としている。安全で適切な幼稚園生活を送る上で、必要な建物設備や器具の修繕が行えた。また、幼児教育に必要な備品も購入することが出来た。上位施策の成果指標は、第6次焼津市総合計画の「施策1：子ども・子育て支援の充実」の成果指標となる。評価は、公立7園の維持管理のため効率的に修繕等を行っており、今後も予算が厳しくなる中で、必要な修繕及び備品購入を行う予定。今後の方向性のうち課題は、「効果的な事業費の使い方」を挙げている。

・幼稚園施設等整備事業について

事業の内容は、公立幼稚園7園の園舎等の施設を維持し、園児の安全対策、環境を改善するための維持補修事業を実施するとしている。30年度の活動実績の主な活動は、静浜幼稚園空調機取付工事と大井川西幼稚園フェンス取替工事及び舗装工事を実施した。活動指標は、整備を行った幼稚園数としており、30年度実績は先ほどの2園となる。対象指標は、先ほどと同じく公立幼稚園数と、園児数としている。成果指標は、幼稚園の工事件数としており、実績値は当初予定されていた1件と緊急に行った1件の合計2件である。上位施策の成果指標は、第6次焼津市総合計画の「施策1：子ども・子育て支援の充実」の成果指標となる。評価は、比較的大きな工事は平成27年度で完了しており、今後は、園児の安全のために必要に応じて対応をしていく予定である。

・保育所・幼稚園における指導者の指導力向上支援事業について

事業内容は、幼稚園・保育所、公立・私立の枠を越えて設置した「乳幼児教育推進会議」を中心として実施される研修事業等において、幼稚園教諭及び保育士の指導力を向上させることを目的としている。30年度の活動実績は、「乳幼児教育推進会議」を年1回、「課題検討部会」を年8回、「乳幼児教育研修会」を年1回、「保育者資質向上研修会」を年8回、「乳幼児教育連絡協議会」を年3回、その他、園内研修訪問指導、幼稚園・保育所合同園長研修、保育リーダー研修会などを昨年度開催した。活動指標は、各研修会の回数と各園への訪問指導の回数としている。対象指標は、公立幼稚園と保育所の職員数としている。成果指標は、指導意識や指導スキルが向上したと答える職員の割合としており、これは研修会でのアンケート結果によるもので、目標値の80%に対し、実績値80%で目標を達成している。上位施策の成果指標は、両方とも、第6次焼津市総合計画の「施策1：子ども・子育て支援の充実」の成果指標となる。評価は、幼稚園・保育所職員に対して行った研修等は、職員の資質向上において有効であり、特に「保育の基礎から学ぶ」ことを狙った「保育者資質向上研修会」は多くの保育者が自主的に参加し自身のスキルアップに繋がった。公立・私立園が共通の認識のもと研修を推進することで、より大きな成果が得ら

れることとなった。今後の方向性のうち課題は、「研修内容を充実させるために、より専門性の高い講師の招聘」を挙げている。

事前に御質問をいただいておりますので、お答えをさせていただきます。奥川委員からは、報告書5ページの「安心して産み育てることができる人の割合について」子育てをしている世代からは高い評価を得ているという記述がある。安心である反面、一般市民の意識との格差をどのように埋めていくのか、今後の見通しを伺いたい。という御質問をいただいておりますのでお答えします。

この意識調査につきましては、総合計画に関する市民意識調査によるもので、無作為抽出で3,000人の18歳以上の市民を対象に実施されており、子どもがいない世代の方も含まれていることから、成果指標の達成度が51.4%という低い結果となったのではないかと考えております。一般市民には、今後、焼津市としていろいろな子育て施策に取り組んでいることについて、もっと啓発を行っていく必要があると考えております。取り組みの一つとしては、11月20日に広報やいづ「子育て支援特集号」を発行し、焼津市の子育て施策をPRする予定であります。

次に、北川委員からは報告書6ページから7ページの「公立幼稚園保育事業」について、7ページの2、目的妥当性評価の中で、「……3歳児就園も強く望まれている」という記載があります。以前それに対する考え方をお聞きしておりますが、再度、見解をお伺いしたいと思います。また、効率性評価の中で、「支援を必要とする子が年々増えてきている……」という記載がありますが、どのような状況になっているのか具体的に教えてください。との御質問をいただいておりますのでお答えします。

3年保育の実施についての要望は、代々PTA会長間の引継事項になっているとのことであり、毎年、要望として出されております。まず、市内における幼稚園の経緯ですが、焼津地区の幼稚園は、先に私立幼稚園ができ、空白地域を埋める形で、公立幼稚園ができ、当初より私立幼稚園が主体的な役割を果たしてきました。市内幼稚園の現状は、少子化が急速に進む一方で、保育所に対するニーズが非常に増えており、私立幼稚園でも11園全てが定員割れをしている状況です。幼稚園のニーズに対しては、焼津地区には私立幼稚園があり、送迎バスのサービスも充実しているため、受け皿は十分確保されていると考えております。市では、限られた財源をどこに振り向けるかを考えたとき、これまで子ども・子育ての分野では、待機児童が発生し、受け皿が不足している保育ニーズへの対応が最優先課題となっていました。また、焼津地区の公立幼稚園で3年保育を実施しようとした場合、1学年増えるため、職員を新規に採用する必要があること。園によっては、3歳児用の保育室を確保するための施設改修が必要となることなどから、市の財政負担を考え、現時点においては実施する必要性は無いと考えております。10月から「幼児教育・保育の無償化」が実施され、市内すべての公立幼稚園の園児の数が減少することが予想されま

	<p>す。市では、焼津地区・大井川地区関係なく、今後の公立幼稚園のあり方について検討を進めてきたところであります。この度、方針案等がまとまりまして、本委員会において次の議事に挙げさせていただきましたので、ご審議をお願いしたいと考えております。</p> <p>次に、支援を必要とする子の状況についてですが、最近の傾向では、多動傾向にある子（落ち着きがなく、やたらそわそわしたり動き回ったり、集中できる時間が短い）、パニックになる子（できないことがあると大声を出したり、泣いたりする。思い通りにならないと教室から出て行ってしまう）が多くなってきています。子どもに個別相談歴があっても、保護者の意識が薄く、園に相談がないと入園後から子どもと係わることになるので、幼児巡回相談等の対応までに時間がかかることとなります。幼児巡回相談についても、対象者が年々増えていますが、子どもの困り感に気づかない保護者や、保護者の同意を得ることが難しく、幼児巡回相談に繋がっていかない場合もあります。また、外国人の子どもも多くなってきており、通常の園活動の中で、言葉を伝えたり理解すること（幼稚園教諭の言葉を子どもが理解できない、子どもの言葉を幼稚園教諭が理解できない）が難しく、個別で対応する場合があります。外国人の保護者に対しても、園からのお知らせの内容を伝えるのに、個別に別室で丁寧に伝えるなど、外国人保護者への支援も多くなってきています。以上、御質問の回答とさせていただきます。</p>
佐藤教育長	<p>説明が終わりましたけれども、施策ごと御意見等を伺っていきたいと思います。まず、御質問のあった委員よろしいですか。</p>
奥川委員	<p>ありがとうございます。回答の中に、啓発を行っていくとのがあったので、是非、実践していただきたいと思う。満足している人は、良いということあまり外に向かって発信しない。焼津市の就学前の教育はすごく充実していることを若い人達に知ってもらいたい。それが、市の施策にも関係してくると思う。是非、実践をお願いしたい。</p>
北川委員	<p>報告書7ページ、④成果に対する活動の妥当性「昨年度の目標は達成されたか？」の記載において、「・・・・・啓発する機会に欠けていた。」とあるが、現に、啓発はされていると思うので、「・・・・・啓発する機会が十分でなかった。」という記載の方が対外的には良いと思うので、記載の方を変えていただきたい。</p>
佐藤教育長	<p>少しやわらかめの記載でいいのではないかとということです。ありがとうございます。その他、どうでしょうか。</p> <p>よろしいですか。それでは、次の施策の説明をお願いします。</p>

<p>近藤学校教育 課長</p>	<p>(事前配付資料により「学校教育の充実」について説明)</p> <p>成果指標は2つ、Aが知「授業内容を理解する小・中学生の割合」、Bが徳(心)「自己肯定感をもつ小・中学生の割合」。</p> <p>・施策の目標達成度は、Aの達成率が100%で結果が○で目標達成、Bの達成率が99.5%で結果が△で目標をほぼ達成となっている。Aが、「平成28年度82.6%」「平成29年度83.9%」「平成30年度83.0%」で、Bが、「平成28年度76.9%」「平成29年度77.5%」「平成30年度76.6%」と、平成29年度よりは下がったが、高水準を維持している。また、この成果指標は、静岡県の教育振興基本計画「『有徳の人』づくりアクションプラン」と同じ調査項目を使用しているため、こうした市としての経年変化だけでなく、県の数値との比較を行うことができる。Aは、県が80.7%に対して、市が83.0%、Bは、県が73.3%に対して、市が76.6%、ということで、いずれも、県の数値を上回っており、県よりも高い水準にあるということが出来る。</p> <p>・施策の振り返りとして、5つあげている。これらの結果は、1つめ、焼津市としての授業改善の重点を設定し、学校訪問で指導助言を行い、各学校が熱心に校内研修に取り組んだこと。2つめ、問題行動や不登校、いじめなどの様々な問題や発達障害児や外国人児童生徒などに対応する支援員の配置や指導体制の充実に取り組んだこと。3つめ、子どもたちが主体的に体を動かしながら運動に親しみ、運動が好きになるような取組を行事や授業の中で進めたこと。4つめ、教育センター事業により、若手講師を対象とした学校訪問による指導や放課後教室を利用した学習支援を行い、学校力の向上を図ったこと。5つめ、学校施設のブロック塀等の緊急調査を行い、すべてのブロック塀を撤去。平成27年度から実施してきた小学校低学年用トイレの洋式・乾式化が完了。児童生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう、小中学校猛暑対策事業として、小学校12校、中学校9校の普通教室、特別教室などに空調設備を整備する工事を発注。「第2期 学び舎にここ元気計画」に基づき、小学校6年生用及び中学校3年生用の机・椅子の更新、焼津西小4教室のロッカーの改修、安全でおいしく栄養バランスの優れた学校給食の提供を行ったこと。による成果だととらえている。</p> <p>・施策の課題も5つあげている。1つめ、児童・生徒の学びの実感につながる教職員の授業改善意識を、さらに向上させる必要がある。新学習指導要領においては、情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力と位置づけられており、学校におけるICT環境の整備を図っていく必要がある。電子黒板機能搭載プロジェクタ、実物投影機、児童・生徒用タブレットパソコン等。貧困や虐待、家庭に起因する不登校などや外国人児童生徒を支援するために、専門的部署が他機関と連携し適切な対応を図る必要がある。特に、小学生の基礎体力を向上させる必要がある。教育センター事業では、若手講師にかぎらず、正式採用ではあっても経験の浅い教員や希望する教員に指導の対象を広げたり、放課後学習支援を行う学校数を増やしたりして、学校力を高めるための取組をさらに充</p>
----------------------	--

<p>佐藤教育長</p>	<p>実させなければならない。引き続き、小学校中・高学年及び中学校のトイレの洋式化、児童・生徒用机・椅子の更新、教室内ロッカーの改修、校舎の内装改修を進め、安全・安心で快適な学習環境の整備を図ることが必要である。と考えている。</p> <p>学校教育課長からの説明が終わりました。この施策について、御意見・御質問がありましたらお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、次の施策の説明をお願いします。</p>
<p>見崎社会教育課長</p>	<p>(事前配付資料により「生涯学習の推進」について説明)</p> <p>施策が目指す姿(状態)は、「市民が、自ら学び、その学んだ知識を社会に活かすことができる」ことと、している。施策の方針は、誰でもが学べる学習機会を提供するとともに、地域と密着した実践活動を推進する。併せて高齢者の生きがいづくりや、居場所づくりに寄与する。天文科学館や図書館において、誰もが学習できる環境づくりに取り組む。学習拠点として生涯学習施設の整備を推進する。青少年の健やかな成長・発達を促すため、学校・家庭・地域の連携を強化し、地域全体の教育力の向上を促進する。として、この方針に基づく基本事業は、「公民館講座の充実」、「生涯学習施設の充実」、「地域での教育力の向上」、「天文科学館・図書館の充実」としている。</p> <p>・平成30年度の取り組み状況について</p> <p>施策の成果指標は、生涯学習の拠点施設である市内9公民館の「各種講座の参加者数」と、「天文科学館・図書館の利用者数」の2つである。「各種講座の参加者数」は、達成率90.3%で目標達成には至らなかった。要因としては、和田公民館が多機能な複合施設として開館し、前年度より利用者数が約11,200人増えたが、他の公民館において自主講座など主催講座の減少等により利用者数が減となり、前年度の実績値より微増にとどまったためである。</p> <p>「天文科学館・図書館の利用者数」は、達成率96.3%で、目標値をほぼ達成している。これは、天文科学館においてプラネタリウム特別番組が好調であったことをはじめ、火星大接近や部分日食等で観望会に多くの参加者があり、利用者数が増えたことによるものである。施策の振り返りについては、公民館では、子どもから高齢者までを対象に実施している、多数の講座や、各種学級を開催し、誰でも学べる学習機会を提供するとともに、地域コミュニティの活動拠点として、地域福祉や体育事業、講演会などの各種コミュニティ事業への協力、支援などに取り組んだ。天文科学館では、「星空案内人資格取得講座」に延べ170人が参加し、新たに3人の星空案内人が誕生した。天文科学館で、この星空案内人の資格を取得した星空案内人20人は、専門知識を活用し、天文科学館事業に協力していただいているとともに、地域において独自の観望会を開催するなど、学びの循環が行われている。また、小中学校と連携して、プラネタリウムの学習投影が91団体、天文・科学に関する出張講座を20回行うな</p>

ど、天文・科学に関する教育の推進に取り組んだ。図書館では、利用者が自由に新聞記事の検索や閲覧ができるようにするため、昨年5月に「静岡新聞データベース Plus 日経テレコン」を導入し、利用者の利便性を図るとともに、焼津市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや保護者が読書に親しめる事業等を実施し、読書活動の普及に取り組んだ。その他、青少年の健やかな成長・発達を促すため、青少年教育相談センターでは、電話や面接、メール相談による相談者の悩みや、問題の解消に向けた適切な助言を行った。また、各地域と連携、協力して、声掛け運動や街頭補導などを実施し、青少年の非行未然防止に取り組んだほか、市内9ヶ所の分散式で開催していた成人式を、18歳成人を見据え、本年より「はたちの集い」として、焼津、大井川の両文化会館2ヶ所で開催する方式に変更し、実施するなどの取り組みを行った。施策の課題として、公民館では、利用が少ない若い世代が興味をもつ講座等の実施や、まちづくりや子育て、健康増進など庁内関係課との横断的な取り組みを実施することが必要である。また、主催事業やコミュニティ事業への参加者の輪を広げ、地域の連帯感を高めるとともに、身に付けた知識を地域やまちづくりに繋げるような学びの循環をつくっていく必要がある。天文科学館では、天文科学の拠点施設として先端技術の学習機会や情報提供を行うため、大学・研究所等の専門機関と連携した事業展開を検討する必要がある。図書館では、図書館のあり方やサービスの充実については、社会状況の変化を見据えながら将来に向けたビジョンを描き、検討していくことが必要である。青少年を取り巻く環境については、スマートフォンの普及によりインターネットやSNSを介した犯罪に巻き込まれるケースが増えており、その対策が必要である。「はたちの集い」については、対象者が参加したいと思うような「魅力ある集い」として開催していく必要がある。という課題が挙げられているので、これら課題の解決に取り組みながら、施策の推進に取り組んでいきたいと考えている。

事前に頂いた御質問について回答させていただきます。奥川委員から、報告書17ページ「施策の目標達成度Aについて」、和田公民館の多機能複合施設としての魅力を示す数字である。ただ、他の公民館が一律に利用者数の減となっているのか、講座に、もしくは公民館によって数値に違いがあることはないか。という御質問をいただいておりますのでお答えします。

平成30年度において前年度（平成29年度）より利用者数が増加したのは、大富・小川・和田・豊田の4公民館で合計20,548人となっております。一方、利用者が減少したのは、東益津・港・大村・焼津・大井川の5公民館で合計19,442人の減少となっております。利用者が減少した要因としては、公民館で定期的に学習等を行っている「自主講座」や「自主グループ」が前年度より16講座減少したこと、講座や各種学級の生徒数の減少、貸館における利用団体や利用者人数の減少などが挙げられます。

次に、北川委員からは、報告書16ページから17ページ「生涯学習の推進について」、17ページの3の①イのうち「併せて人材育成を行います」は他の記

佐藤教育長	<p>載と同様「である」調が基本でありますので、「併せて人材育成を行う」に修正してください。という御指摘をいただいております。</p> <p>1 文体が不統一であるとのこと指摘、ありがとうございます。文体を「である調」に修正いたします。以上、御質問の回答とさせていただきます。</p> <p>説明が終わりました。質問があった委員さんはいかがでしょう。</p>
奥川委員	<p>ご丁寧にありがとうございます。自主講座、自主グループの減、それと人口が減っている現状からすると、減は仕方がないという思いはあるが、そういう中で増えている公民館の要因は何なのか、増えた公民館の数字を褒めた方がいいのかなという思いがしました。回答ありがとうございます。</p>
佐藤教育長	<p>増えた要因を分析して、活かして欲しいと思います。よろしく申し上げます。他によろしいでしょうか。それでは、次の施策の説明をお願いします。</p>
杉本文化財課長	<p>(事前配付資料により「芸術文化と歴史伝統のまちづくり」について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標となる目標値の設定について <p>文化財に関する分野の成果指標は「文化財関連施設の入館者数」となる。該当する施設は、歴史民俗資料館と焼津小泉八雲記念館及び、大井川資料保管庫。利用者数を、計画初年度となる平成 29 年度から、目標年度となる令和 3 年度（平成 33 年度）までに 5 %を増加するとした。令和 3 年度の目標値は 29,000 人となる。</p> ・目標達成の状況について <p>平成 30 年度の目標値 28,200 人に対して、実績値は 27,577 人、達成率は 97.8% となり、目標を達成できなかった。平成 29 年度は「焼津小泉八雲記念館」の開館 10 周年記念事業といった大型事業があり 28,752 人という結果でしたが、平成 30 年度は大型事業が無かったことが減少の要因と考える。なお、全体数と大人の入館者数は前年度に比べ減少したが、子供の入館者数は 700 人ほどの増加となった。</p> ・施策の振り返り <p>文化財に関する実施事業については、まず、歴史民俗資料及び焼津小泉八雲記念館の運営をとおして、伝統文化の継承と学習の機会を提供した。文化財など、歴史的地域資源を活用する事業として、「山の軸」では、重要伝統的建造物群保存地区である『花沢の里』の歴史的建造物の修理と、ビクターセンター整備のための実施設計を行ったほか、花沢城については発掘調査に取り組んだ。「海の軸」では、浜通りにある歴史的建造物の整備や、浜通りで行われた「夏のあかり展」に参加した。その他、「藤守の田遊び」や「焼津神社獅子木遣り」の保存会など、伝統文化を継承する活動への支援に取り組んだ。</p> ・施策の課題 <p>文化財の保護と活用に関する施策の課題については、歴史的文化資源については、適切な保護と、次世代への継承とともに、その活用を図ることが重要と考え</p>

	<p>る。このため、新たな歴史的・地域資源の発掘をはじめ、交流人口拡大に向けた積極的な活用を推進する必要があると考えている。</p>
佐藤教育長	<p>説明が終わりました。委員の皆さんから御意見や御質問がありましたらお願いいたします。</p>
佐藤教育長	<p>子供の入館者数が700人ほど増えた理由は何かあるのか。</p>
杉本文化財課長	<p>冬の企画展で、「昭和とくらし」を民俗資料館で実施しました。小学校3年生の歴史の勉強をする時期にあたり、たくさんの子供さんが参加していただいた。また、新聞などに取り上げていただき、休日にも親子連れが参加していただいたことが、子供の年齢層が増えた大きな要因になっているのではないかと思います。小泉八雲記念館におきましても、人気ゲームとコラボしたことも若年層が増えた一つの要因になっているのではないかと思います。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。 それでは、議第11号焼津市教育委員会事業評価報告書について、お諮りしたいと思いますが、承認としてよろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>異議なし</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。それでは、議第11号は承認されました。 次に、議第12号公立幼稚園のあり方について、説明をお願いします。</p>
岩ヶ谷保育・幼稚園課長	<p>(当日配付資料により説明) (説明要旨) 公立幼稚園のあり方を検討するきっかけとなったのが、少子化や10月からスタートする幼児教育・保育の無償化の影響から、令和2年度の公立幼稚園の入園申込者が、例年と違い、大幅に少なくなることが予想されたことである。特に、東益津幼稚園については、今年度の年中児が3人であり、来年度の申込者もゼロの可能性が高い状況であると園長から報告を受け、大変心配をしていた。そのような中、7月に実施した来年度の公立幼稚園申込予定の参考となる未就学児開放事業の参加者数がどの公立幼稚園も例年より大幅に減っているという報告が各園から入ったこともあり、市としては、園児が減っていく公立幼稚園について、全体の課題として考える必要があるということで「今後の公立幼稚園のあり方」について、関係機関、関係部局と調整し、方針をまとめて来た。 ・公立幼稚園の現状 急速に進む少子化と共に、園児数が減少しており、幼稚園教育の目標である</p>

一定規模の集団による幼児教育、集団生活の経験の場が提供できなくなっている。次に、来年度の幼稚園申込予定の参考となる未就学児開放事業の参加者数が例年より大幅に減った。なお、令和2年度の入園申し込みが9月27日までとなっており、公立7園中4園がひとケタの申し込みで、東益津幼稚園はゼロでした。次に、私立幼稚園によっても、公立幼稚園と同種のサービスまたはそれ以上のものが提供されており、行政が競合するような同種のサービスを実施する必要性が薄れてきている。次に、公立幼稚園を選んだ理由はと聞くと、保育料が安いからという答えが大半の保護者から返ってくる現状の中、10月からの幼児教育・保育の無償化がスタートすることにより、公立・私立幼稚園の保育料の格差はなくなるため、結果、私立幼稚園への需要が高まることが予想される。このような現状を分析していく中で、公立幼稚園全体の課題として、公立幼稚園全体の方向性や果たすべき役割（あり方）を明確にしていく必要があるということで検討を始めた。

・公立幼稚園の集団規模の幼児教育の提供の現状

東益津と下藤分園においては、園児数がかなり少なく、一定の集団規模の幼児教育、集団生活の経験の場が提供できていない状況にあり、特に東益津幼稚園では、近隣のたかくさ保育園や旭町保育園との定期的な保育交流を行っている状況である。

・公立幼稚園をめぐる市民ニーズと私立幼稚園との関係

保護者のニーズとしては、公立幼稚園の存続、認定こども園化、3年保育の導入、預かり保育の実施、できれば通園バスサービスなどがある。一方、私立幼稚園のニーズは、園児の確保と慢性的に不足している幼稚園教諭の確保である。そのような影響を受け、公立幼稚園では園児数が減少、無償化による影響もあり、今後における園の持続可能な行政経営や行政コストの検討が必要になってきている。このようなことから、公立幼稚園の果たすべき役割を明確化してみた。

・公立幼稚園の果たす役割

今後の公立幼稚園の果たす役割としては、公立幼稚園は、教育・保育ニーズを量的・地域的に補完する役割を担う。具体的には、幼児教育の機会の均等を保つ受け皿として、また、地域的に他の幼稚園がなく、民間の幼稚園でも受け入れが容易でない場合の受け皿としての役割を担うことになる。

・方向性の基本的な考え

公立幼稚園の現状と来年度の申し込み状況の推計から、公立幼稚園を、公立幼稚園の果たす役割を担う園と、課題として一定規模の集団教育を提供できない園の2つの区分に分け、今後の方向性として、「公立幼稚園の再編」ということを基本的な考えとした。

・再編の基本的な考え

公立幼稚園の再編の枠の中に、公立幼稚園のあり方として、ブルーに色付けられている部分は、今後も公立幼稚園の役割を果たして行く位置づけの幼稚園

	<p>になり、これについての再編の方法は、「公営による存続」とし、対象園としては、大井川地区の静浜、大井川南、大井川西幼稚園、焼津地区の大富、さつき幼稚園が該当する。次に、オレンジで色づけられている部分は、課題の一定規模の集団教育の提供が難しい園になる。上の枠の「園児数が減少し、一定規模での集団教育が提供できない状態が数年以上継続し、以後の推計でも園児数の増加が見込めず、同じ小学校区において他の公立幼稚園が存在する場合」は、再編方法を、「統合」とし、下藤分園が該当する園になり、静浜幼稚園との統合とした。下の枠の「園児数が減少し、一定規模での集団教育が提供できない状態が数年以上継続し、以後の推計でも園児数の増加が見込めず、近隣に公立の施設が存在しないものの私立幼稚園や民間保育園がある場合」は、再編方法を、「民営化の協議」とし、東益津幼稚園が該当園になる。このような方針で、今後の公立幼稚園のあり方を考えていくこととしますが、今回は方針決定だけで、具体的な集団教育の規模の考え方や再編のタイミング等については、今後詰めていきたいと思っている。また、今後の少子化の進行や、幼児教育・保育の無償化の影響により、情勢の変化があった場合は、方針の見直しを行うことも考えている。</p>
佐藤教育長	<p>説明が終わりました。委員の皆さんから御意見や御質問がありましたらお願いします。</p>
北川委員	<p>公立幼稚園の再編の基本的な考え方を拝見して、妥当な考え方だと思いました。個人的に静浜幼稚園と下藤分園は、一つの学区に二つあるということで、統合すべきかなと思った。東益津幼稚園は和田幼稚園が廃園になる時にも土俵に上がった経緯もあり、こういう方向になるのかなという思いがあります。民営化の協議を進めていただき、より良い結果が得られるよう期待しております。遠くない将来、公立幼稚園の方向性を検討する必要があると思います。</p>
奥川委員	<p>現在の説明については納得いたしました。今後、こども園と保育園をどういう流れを作っていくのか心配している。焼津市に公立幼稚園があるということは、就学前の子供たちの教育に対して、かなり大きな影響力を持っている。公立幼稚園の教諭は自信を持って、私学の幼稚園・保育園にアピールして行かなくてはいけないと思う。就学前の幼稚園の集団教育が、なぜ必要かということを守護者はなかなか理解しにくい問題だと思う。働きに出るから一日預かってくれる保育園が良いと、無償化になりそちらに流れて行くのではないかと懸念しています。そういう時代だからこそ、幼稚園教育が大事だということを、公立幼稚園の教諭が声を大にして保護者にも訴える必要があると思っています。焼津市の公立幼稚園の存在する意味を自覚して、もっとアピールして行った方がいいのかなと考えています。焼津市として、保育園・幼稚園の先生方を一緒にして指導体制を作っておきたいこと</p>

	<p>だと思っていますので、その方向を是非強めて、なぜ幼稚園教育が必要であるかということをもっともっとアピールしていく方向で行っていただきたいと考えます。</p>
佐藤教育長	<p>幼稚園教育そのもののあり方についても、公立幼稚園だからこそ先進的にできるのではないかという御意見だと思います。そのような意見があったこともお願いします。</p>
大石委員	<p>基本的な考え方、公立幼稚園のあり方という部分に関しては賛同いたします。私立幼稚園がある中で、公立幼稚園を作ってきた経緯を、今までも何回も説明をしていただいた。私立の補完的な役割を果たすために公立を作ったということ、人口が減って行く中で、今まで担って来た役割が縮小していく事はやむをえないことかなと思う。民間の経済力、効率の良い園の経営という手法をもっともっと利用して行くべきかなと思う。人口が減って縮小して行く経済の中で、公立幼稚園は縮小して行くのが当然の流れかなと思っている。最終的には、認定こども園を増やして行くことによって対応して行くしかないのかなと思う。いずれ私立幼稚園も、これ以上子どもが減れば経営が大変になり、数が減っていく流れになることが容易に想像できる。個人的な考えでは、幼稚園教育・保育園教育の枠を考えないでやって行く時代が来たのかなということも思っています。両方の特性を持ったものを民間の力を借りながら、どうやって行くかということをお早めにやっていく方がいいのかなと今思っています。</p>
山竹委員	<p>公立、私立という枠が成り立たない、全部をひっくるめて組み立てをし直さないとならない時期なんだろうなと実感をしました。いたしかたないのかなと思います。</p>
佐藤教育長	<p>統合と言った場合、静浜幼稚園の方に統合させる方になるのか、新しい所になるのか、まだはっきりしていないと思うが、いろんな意見が出る場合があるので慎重に進めて行く必要があるのかなという感じがします。保育の無償化が始まり、親の都合にあった保育所・幼稚園でなく、教育的な施設としてどうあるべきかを考えて行かなければならない。また、私立の保育所・幼稚園に対しても市として、ものの言える体制を作って行くのが大事かなという感じがしています。定例教育委員会で出た意見を今後の会議の中で、活かしていただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>よろしいでしょうか。 続きまして、報告事項に移ります。報告事項の1番、令和元年度9月市議会定例会一般質問について、説明をお願いします。</p>

<p>岡村事務局長</p>	<p>(事前配付資料、当日配付資料により説明)</p> <p>(説明要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局関係では、6人の議員から一般質問があった。 ・深田議員2件のうち1件目「子どもたちに〇〇ペイ（スマホ決済）の正しい知識をどう伝えるか。」小学校では家庭科、中学校では社会科や家庭科で電子マネー決済等の消費者教育について学んでいる。2件目「輸入小麦から除草剤が検出された。学校給食のパン、麺、パスタなどの残留農薬の検査と状況はどうか。」パンは100%国内産の小麦、麺・パスタは国内産のほか、カナダ、オーストラリア、アメリカ産の小麦を使用しており、いずれも残留農薬検査で国の基準値内のものを使用している。 ・岡田議員2件のうち1件目「外国籍児童生徒に対する日本語教育について。」6小中学校に外国人児童生徒教育担当教員7人が配置され、別教室で指導しているほか、外国人児童生徒支援員43人が日本語の初期支援等を行っている。また、中学卒業後8割が高校進学している。今後も外国籍児童生徒に丁寧な指導や対応を心掛けていく。2件目「学校校庭の芝生化。」地表面の気温上昇抑止効果、怪我防止、埃対策等のメリットがある一方、肥料、水まき、芝刈り、葉の処分などの維持管理に手間と経費が掛かるほか、小中学校では野球、サッカー、トラック競技などいろいろな競技が行われるため、それぞれの競技に支障があり、芝生化は非常に難しい。 ・川島議員におかれては、体調不良により議会欠席のため答弁はしていない。 ・太田議員「学校給食センターの老朽化に伴い、食中毒や事故が心配されるが、早急に再編・整備を進めるべきではないか。」公共施設マネジメントに基づき、今年度施設の現況調査とともに、整備方法や事業費等の研究を行っている。関係部局と協議しながら、学校給食センター再編方針の策定に取り組んでいる。 ・内田議員「大規模停電時の対応について。公民館の発電機や太陽光発電設備はどうか。」9公民館全てにガスカートリッジ発電機を配備。大村、大富、小川公民館には太陽光発電設備と蓄電池が設置されている。 ・杉田議員「市立図書館司書、学校司書の重要性について。専門性が高く、図書館でも学校図書館でも必要不可欠な司書には昇給等、待遇面の改善が必要ではないか。重要性をどう評価しているか。」日本図書館協会が発表している「公立図書館の任務と目標」や「学校図書館法第4条」に関連して10件ほどの質問がありました。市立図書館、学校図書館の司書とも、一般市民や児童生徒、教職員に対し、わかり易い丁寧なレファレンスサービスを行っており、市にとって重要な役割を担っていると評価している。
<p>佐藤教育長</p>	<p>説明が終わりました。御意見・御質問等、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは続きまして、報告事項の2番、平成30年度教育費決算について、説明をお願いいたします。</p>

<p>岡村事務局長</p>	<p>(事前配付資料により説明)</p> <p>(説明要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度の教育費の決算額は 53 億 4, 115 万 2, 578 円で、予算額に対する執行率は、78.5%でありました。 ・まず、教育総務課では、小中学校の校舎等の施設及び設備の保全に努め、教育環境の整備を促進しました。小学校 10 校、中学校 9 校の机・椅子を更新したほか、港小ほか 5 小学校のトイレ洋式化改修工事を行いました。また、6 月に発生した大阪府北部地震の被害を受けて、大井川東小ほか 4 小学校、和田中ほか 2 中学校のブロック塀撤去とフェンス設置等を行いました。さらに猛暑を災害と捉え、普通教室・特別教室全てにエアコンを設置するため、公募型プロポーザル方式で空調整備を進めました。 ・次に、学校教育課では、教員の指導力向上や児童生徒の学習支援を主な事業とする「教育センター事業」や、外国人の児童生徒が学校生活に適應できるよう支援する「外国人児童生徒等教育支援事業」、小学校 1 年生の学校生活の安定をねらいとして支援員を配置する「小学校低学年学校生活安定事業」、また、特別な支援を必要とする児童生徒のための「小・中学級支援員配置事業」などを行いました。 ・次に、学校給食課では、平成 27 年度から始めた「やいちゃんランチの日」を 30 年度も月に 1 回実施しました。さらに、平成 28 年度から始めた「給食センター保護者試食会」を 1 月に実施し、2 日間で延べ 52 人の参加がありました。また、昭和 59 年 3 月に竣工し、老朽化が激しい「学校給食センターの再編」に向け、庁内協議を行いました。 ・次に、社会教育課では、青少年の健全育成を図るための「青少年教育相談センター事業」を実施したほか、「成人式」を「はたちの集い」として焼津と大井川の両文化会館で開催する方式に変更しました。また、家庭教育の充実を図るため「家庭教育学級事業」や「家庭の教育力支援事業」などに取り組みました。更に、「生涯学習活動の推進事業」として、市内 9 箇所の公民館で、各種学級・講座の開設や、自主グループの育成と事業の振興に取り組みました。施設関係では、新豊田公民館の建設に係る基本構想の策定、旧和田公民館の解体を行いました。 ・次に、文化財課では、貴重な文化遺産を後世に継承できるよう、文化財保護や歴史民俗資料館の運営などを中心に事業展開しました。「伝統的建造物群保存地区」である花沢地区においては、法華寺本堂と日枝(ひえ)神社鳥居の保存修理事業を実施したほか、地区の歴史や文化を紹介するビジターセンター整備のための実施設計を行いました。歴史民俗資料館は、299 日開館し、15, 123 人の来場者がありました。また、小泉八雲記念館は、296 日開館し、12, 283 人の来場者がありました。記念館の運営では、資料展示を行った企画展示会や、各種講座をはじめ、講演会などを開催しました。 ・次に、図書課では、焼津図書館が 288 日開館し、来館者数は 191, 407 人、貸
---------------	--

	<p>出数は 499,604 点。大井川図書館が 290 日開館し、来館者数は 119,409 人、貸出数は 190,127 点でした。本にふれあい、楽しむ機会をつくるための「お話し会」、来館のきっかけづくりとしての「各種講座」、図書館利用に支障のある方に対しての「アシストサービス事業」、更には、30 年度新規事業として、子育てサポートルームにおいて出前おはなし会を実施しました。以上です。</p>
見崎社会教育課長	<p>事前に奥川委員から頂いた御質問について回答させていただきます。奥川委員からは、家庭教育ネットワーカーの人選について、公表できる範囲で知りたい。との御質問をいただいておりますのでお答えします。</p> <p>平成 30 年度をもって家庭教育ネットワーカー 4 人のうち、2 人が辞任されることとなったため、平成 30 年 12 月号の「広報やいづ」で新規の家庭教育ネットワーカーの募集記事を掲載しました。募集にあたっては、「焼津市家庭教育力支援事業実施要綱」のネットワーカーとしての要件であります、育児経験を持つ人、育児に関する専門的な知識・技能を有する人、焼津市教育委員会が実施する家庭教育学級の修了者、静岡県が実施する生涯学習ボランティア活動総合推進事業などの養成・研修事業の修了者、子育てグループのリーダー経験者のいずれかに該当する人を対象要件として募集を行い、応募のあった 8 名との面談を行い、決定しました。以上、御質問の回答とさせていただきます。</p>
渡辺こども未来部長	<p>続きまして、こども未来部所管の教育費決算状況についてご説明いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前言語障害児指導事業は、3 か所の「幼児ことばの教室」において、言語障害のみられる幼児に対する個別指導を行いました。30 年度に指導した幼児は、96 人でした。内訳は、焼津南小 43 人、小川小 33 人、大井川南小 20 人。 ・次に、私学振興事業は、経済的に保育料の支払いが困難な保護者に対し、保育料を減免した場合、市が幼稚園設置者に対して補助する私立幼稚園就園奨励費補助事業などを実施しました。補助対象は、市内の私立幼稚園 12 園、対象園児 1,548 人、及び市外の私立幼稚園 8 園、対象園児 23 人。 ・次に、幼稚園事業の主なものとして、静浜幼稚園空調機取付工事、大井川西幼稚園フェンス取替工事及び舗装工事、大富幼稚園・東益津幼稚園・さつき幼稚園の普通教室及び多目的教室へエアコンを整備する幼稚園猛暑対策事業を行いました。 <p>続きまして、事前に奥川委員から頂いた御質問について回答させていただきます。奥川委員からは、子どもがいきいきと輝きみんな教育・子育てを支えるまちづくりの事業は、いずれも前向きでゆめある取り組みと評価できる。(7)(9)(10)の事業で効果的な代表事例を紹介いただきたい。という御質問をいただいておりますのでお答えします。</p> <p>(7)事業の効果的な代表事例ということですが、AIチャットボットにつき</p>

ましては、効果及び成果につきまして、1つ目は、登録者数です。本市では、平成29年8月12日よりLINEアカウントを取得し、子育て情報の発信を行ってきています。平成31年1月7日から同アカウントのチャットボット機能を追加し運用を開始したところ、LINEの有効友達数が2月1日のチラシ配布以降、急激に増加し、1月7日の開始時点の有効友達数636人に対し3月31日時点では、1,829人と2.8倍に伸びました。現在も着実に伸びており、8月末現在で2,383人(3.7倍)まで増えております。2つ目は、発話数(チャットボットが答えた数)です。1月7日から3月31日までの総発話数(LINEとWEBでチャットボットが発話した数)は、24,330回となり、1日当たり270回の発話でした。利用数全体における閉庁時利用率は46.6%で、休日、夜間を問わず、いつでも具体的な回答を返すことができるようになり、市民の利便性の向上につながっております。3つ目は、正答率です。3月の1ヶ月LINEとWEBを合わせた正答率は78.4%でした。今後も問い合わせ等の履歴を分析し、回答できる内容を増やしていきます。以上、3つの効果・成果が上がっております。

次に、(9) 家庭児童相談、児童虐待及びDV相談の事例について、お答えいたします。数年前、父から母に対するDV、父から子に対する虐待があり、母子で焼津市に避難してきた事例です。避難する前から不登校で、転入校でも不登校が続いていたため、当センター職員と一緒に登校したり、学習指導をしたりして支援を行いました。中学校卒業後、単位制高校に入学、しばらくは通学していましたが、ゲームやパソコン等にのめり込み、家に籠りがちになり、再び不登校となりました。当センターとしては、繋がりを絶たないようにすることが必要であるという方針のもと、定期的な面接を継続して行ってきました。結果、当センター以外の居場所にも興味が出るまでになり、現在は、アルバイトに就くことができっております。(今後も定期的な面接を継続し、つながりを持っていきます。)

次に、(10) 発達支援の事例です。現在、小学校3年生の男児の事例です。保育所時代から、集中力が短く、動きが多く、じっと立っていることが出来にくいお子さんでした。知的には、ほぼ年齢相応でしたが、自閉症スペクトラムの診断がされておりました。就学時には「特別支援学級」判定が出ておりましたが、両親は、特別支援学級の見学をした上で、「通常級」での就学を選びました。こども相談センターでは、保育所時代に幼児巡回相談で親子との関わりを持ち、その後も面談を重ね、保護者の思いを聞く中で、どんぐり教室への参加やあしすとファイルの利用を勧めるなど、様々な支援を行ってきました。また、就学時には、こども相談センターを含むケース会議を実施し、支援方法等の引継をしました。母親も熱心に学校と面会の機会を持ち、あしすとファイルを利用し、子どもの特徴や支援方法などを担任と頻回に相談し、担任も子どもにあった指導を行いました。その結果、小学校2年生時の就学支援委員会では、「通常級」判定となりました。成功した支援法を、学校内と保護者が進級時に引き

増田教育総務課長	<p>継ぐ形で、小学校3年生の生活を落ち着いて送っています。(幼児期に相談を受けていた子供たちの情報を保護者の同意を得て、学校に引継ぎ、学校訪問等も行いながら、切れ目ない支援を行い、自立や社会参加に向けて、出来る支援を行っていきます。)</p> <p>次に、北川委員から頂いた御質問について回答させていただきます。北川委員からは、監査において、指摘事項や指示事項はありませんでしたか。もしあれば、どのような内容であったか教えてください。との御質問をいただいておりますのでお答えします。</p> <p>教育総務課におきましては、指摘事項や指示事項はありませんでしたが、2点の注意事項がありました。1点目は、平成30年度焼津市役所大井川庁舎空調設備保守点検業務委託において、業務完了報告書、月次点検報告書に受付印がないと注意を受けました。2点目は、焼津市立小川小学校小荷物専用昇降機改修工事の支出負担行為伺いにおいて、検収日が作業報告日より前の日になっていたこと、また、修繕工事請書の請負者住所に誤りがあるとの注意を受けました。</p>
近藤学校教育課長	<p>指摘事項や指示事項はありませんでしたが、注意事項が8点ありました。</p> <p>1点目は、平成30年度焼津市少年少女合唱団海外渡航活動事業補助金において、実績報告書及び概算払請求書の受付印漏れとの注意を受けました。2点目は、同じく平成30年度焼津市少年少女合唱団海外渡航活動事業補助金において、交付決定通知の決裁時に文書番号及び日付の記載ありとの注意を受けました。3点目は、中学校部活動全国大会等後援事業補助金において、補助金交付申請書及び概算払請求書の受付印漏れとの注意を受けました。4点目は、同じく中学校部活動全国大会等後援事業補助金において、交付決定及び交付確定通知とも決裁時に文書番号及び日付の記載ありとの注意を受けました。5点目は、元小浜地区通学タクシー運行業務において、4月から9月までの業務完了報告書の受付印漏れとの注意を受けました。6点目は、同じく元小浜地区通学タクシー運行業務において、少額随契のケース3としているが、少額随契外のケース7となるため予定価格表が必要との注意を受けました。7点目は、焼津地区小中学校児童生徒健康診断業務委託料(中学校分)において、業務委託締結決裁に「支出負担行為(朱書き)」の記載漏れとの注意を受けました。8点目は、メイプル通い箱(保冷用スチロール箱)の支出負担行為伺いにおいて、請求書の受付印漏れとの注意を受けました。</p>
見崎社会教育課長	<p>指摘事項や指示事項はありませんでしたが、次のとおり4点の注意事項がありました。1点目は、社会教育主事講習出張旅費に係る予算の流用方針伺いの起案日が講習申し込み後となっている。2点目は、「はたちの集い」で使用する吊り看板・立看板の作製に係る業者選定の随意契約理由が不適切である。</p>

	<p>3点目は、第17回日本スカウトジャンボリー参加事業補助金に係る支出負担行為（検収欄）について、補助金の検収は不要となっているが、検収を行っている。4点目は、焼津市青少年健全育成市民会議活動事業補助金の事務処理において、交付決定・交付確定時における補助対象事業費全体を明確しておくこと。と注意を受けました。</p>
<p>石上図書課長</p>	<p>指摘事項や指示事項はありませんでしたが、「静岡新聞等の製本」の契約に関する決裁において、別表1（随意契約事務処理方法簡易確認表）の添付がないことと、見積依頼書（案）が修正されていないことについて、注意を受けました。</p>
<p>岩ヶ谷保育・幼稚園課長</p>	<p>保育・幼稚園課の平成30年度の決算審査に伴う予備審査の結果について、注意事項が2件ございました。1件目が「平成30年度焼津市年度途中入所サポート事業費補助金」の各園からの交付申請書、実績報告書に受付印が押していない。2件目が「平成30年度大井川西幼稚園フェンス取替工事及び舗装工事」の随契理由が弱いです。以上です。</p>
<p>佐藤教育長</p>	<p>以上説明が終わりました。30年度の教育費決算について、御意見・御質問がありましたらお願いします。</p>
<p>北川委員</p>	<p>監査における注意事項は些細なことなので、ダブルチェックをしてゼロにすることは難しいことですが、限りなくゼロに近づけるようご指導をお願いします。</p> <p>別冊、決算書3ページ（5）「高等学校終了前までの児童・・・・・・・・」の記載の児童の後に「・生徒」を入れてください。また、P3、P4、P23に出てくる「児童生徒」の記載を中ポツの「児童・生徒」の記載にしてください。</p>
<p>奥川委員</p>	<p>ありがとうございます。決算に直接関係することではありませんが、焼津市の教育の重要なことなので質問させていただきました。ネットワークの人選にはこれだけ配慮していただいていることがよくわかりました。こども未来部については、これだけ成果があるということを改めて知ってありがたいことだと思います。以上です。</p>
<p>佐藤教育長</p>	<p>事前質問回答の7ページの「正答率78.4%」は履歴で見ているのか。</p>
<p>渡辺こども未来部長</p>	<p>正答率は、回答したか否か、また回答不可を計算式に入れて出しています。</p>

佐藤教育長	<p>他、よろしいですか。次の報告事項、いじめ問題の対応、最近の小中学校の状況について、説明をお願いします。</p> <p>(当日配付資料により説明) (説明要旨)</p> <p>報告事項3「いじめ問題への対応」</p>
近藤学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の小学校での新たないじめ問題の認知件数は1件。適切に対応し、解消に向けて取組中。 ・8月の中学校での新たないじめ問題の認知件数は3件であった。適切な対応をして一定の解消。 ・いじめ重大事態発生について <ul style="list-style-type: none"> 被害児童生徒は、1年2組12歳A。加害児童生徒（B～R）。いじめの概要は、B～Lは小学校前に、グループLINEでAの悪口を言っていた。卒業式2日前にAはそのLINEを別の友人に見せてもらい、ショックを受けた。小学校では、春休みの間に指導があったが、中学校へ入学してからも、B、D、H～Rにいらまれたり、悪口を言われたりした。いじめ重大事態の根拠は、Aが長期間欠席することを余儀なくされた。欠席30日、遅刻15日、早退0日、出席日数40日。いじめを認知した経緯は、小学校からは、LINEでのいじめに関して、春休み中にB～K及びその保護者に対して指導したことが報告されていた。4月16日（火）にAが学校に行きたがらず欠席した。担任と学年主任が家庭訪問し、保護者から話を聞くことでその他のいじめが発覚した。被害生徒が8月2日から入院している。保護者対応に市教委も入り転校を含めて、協議を進めている。今後も、丁寧に対応をして行く。 ・7月報告のいじめ重大事態経過報告について <ul style="list-style-type: none"> 被害児童は、適応指導教室に通う事が出来るようになっている。被害児童の保護者が、加害児童を自宅付近で待ち伏せて問い詰めたということがあり、現在は、保護者同士の対立が大きくなってしまっているという状態である。市教委が入り、それぞれの保護者と丁寧な対応をしているが解決の糸口が見えて来ていないという状況である。 <p>報告事項4「最近の小中学校の状況について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中体連において、全国大会、東海大会での団体相撲、個人の活躍が目立った。 ・志太地区英語話し方能力研究大会に参加し、焼津市の7人が中部大会に進出、さらに2人が県大会にも進出した。 ・志太地区理科研究論文審査会に出品し、4人が特選に選ばれた。 ・来年度に向けた児童生徒の調査が始まった。通常学級児童数は減少、特別支援児童数は同数、通常学級・特別支援生徒数は増加している。令和2年度の特別支援学級児童・生徒数は、現時点での可能性のある人数を算出。小学校は、6年生の人数が多く、新1年生の人数が少ないため減となっている。中学校は、中3に比べて、人数の多い小6年生が入ってくるので増となっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月の不登校について、小学生 34 人（昨年度 23 人）、中学生 90 人（昨年度 63 人）であった。適応指導教室の利用者が増え、適応指導教室と学校を併用するケースも多く見られる。 ・ 進路学習会について、10 月 3 日（木）に焼津公民館で実施する。本年度が 15 回目の開催。年々参加校数が増加し、今回は新たに 3 校が参加し、16 校の高等学校・高等専修学校等が、学校紹介を行う。 ・ 8月の問題行動について、小学校 3 件（昨年度 3 件）、中学校 8 件（昨年度 3 件）であった。小学校は、窃盗、万引き、その他。中学校は、ネット問題 3、生徒間暴力 3、退陣暴力、深夜徘徊。 ・ 8月の交通事故について、小学校 1 件（昨年度 6 件）、中学校 1 件（昨年度 0 件）であった。2 件とも、自転車に乗っていて交差点で自動車と接触した事故。この他に、同乗中の事故が 3 件。 ・ 中学校体育大会について、雨の影響で練習が十分にできずに心配されたが、大会当日は競技に、係の仕事に、応援にと、一生懸命に取り組む生徒の姿が多く見られた。どの学校でも異学年のつながりが大切にされ、互いに励まし合うなどの温かな雰囲気が感じられた。多数の保護者が応援に駆けつけ、好ましい雰囲気に包まれた大会が開催された。 ・ 小学校の修学旅行について、9月に豊田小が実施された。残りの 12 校は、11 月に実施予定。 ・ 中学校連合音楽会が、10 月 5 日（土）、小学校陸上競技大会が 10 月 16 日（水）で予定されている。 <p>以上で報告を終わります。</p>
佐藤教育長	<p>中学校の体育大会で猛暑が心配されたが、全中学校の各学級にテントを 1 張から 2 張、配置出来るようになっております。</p>
佐藤教育長	<p>学校関係の報告事項について、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいですか。次の報告事項ということで、5 番、全国学力学習状況調査焼津市の結果公表について、お願いします。</p> <p>（当日配付資料により説明） （説明概要）</p>
近藤学校教育課長	<p>報告事項 5 全国学力学習状況調査焼津市の結果公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力・学習状況調査の全国の結果が公表され、焼津市の結果を全児童・生徒の保護者などにできるだけ分かりやすく伝えるために A3 版の資料「焼津市の教育」を作成し、10 月 10 日から 10 月 18 日の期間で配布する。また、各学校では、この市の調査結果とあわせて、学校でまとめた調査結果と個人の調査結果を配布する。 ・ 生活習慣や学習環境については、焼津市の子供たちの良さとして「人とかか

	<p>わることが好き、挑戦する意欲がある」ということが言えます。具体的には、3つの楕円の中に書いてある内容が、多くの子が「当てはまる」と回答した質問と、今年度「当てはまる」と回答した子が増加した質問です。課題として、これから求められるのが、自ら判断して行動する力ということができます。焼津市の子どもたちは素直で、言われたことはしっかりできるけれども、自ら判断して行動する力をさらに伸ばして行きたいということになります。そのために、学校・家庭・地域すべてが学びの場ということで、生活のルールを作ろう。じっくり話を聴こう、話をしよう。たっぷり褒めよう、認めよう。やってみたいという思いを応援しよう。やってみようと思中を押してあげよう。どうしてという疑問を大事にしよう。ということで、みんなで「共育」をキーワードに呼びかけています。教科については、国語で良かった点は、小学生は「話し手の意図を捉えながら聞き自分の考えをまとめる力」、中学生は「相手に分かりやすく伝わる表現について理解する力」、課題としては、小学生は「文の中で正しく漢字を使う力」、中学生は「字形を整え、文字の配列などに気を付けて楷書体で書く力」です。算数・数学で良かった点は、小学生は「多くの情報から必要な数量を見いだす力」、中学生は「図形や数の性質を正しく説明する力」課題としては、小学生は「見いだした二つの数量の関係を捉える力」、中学生は「ものごとの関係を数学的に説明する力」です。本年度、初めて中学校の英語の調査が行われました。英語で良かった点は、「必要な情報を正確に聞き取る力」、「基本的な文法事項を理解して、英文を書く力」、課題としては、「まとまりのある文章の要点を捉え、それに対して自分の考えをもつ力」です。こうした内容を、保護者にできるだけわかりやすく伝えるために、毎年このようなパンフレットを作成し配布しています。以上です。よろしくお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>学力学習状況調査の結果公表ということで、説明が終わりました。これについて、御意見・御質問はどうでしょうか。</p> <p>よろしいですか。次の報告事項ということで、6番、第2期子ども・子育て支援事業計画骨子（案）について、お願いします。</p> <p>（事前配付資料により説明） （説明概要）</p>
鈴木子育て支援課長	<p>「第2期焼津市子ども・子育て支援事業計画」は、「第1期子ども・子育て支援事業計画」が今年度をもって計画期間を終了することに伴い、令和2年度から6年度の5年間を計画期間とし、策定作業を現在進めている。当計画は、「次世代育成支援行動計画」を継承する計画でもあり、焼津市で取り組む様々な子育て支援に係る事業を、具体的な取り組みとして位置づけている。第2期計画は第1期計画の内容を継承し、新たな施策も加えた構成とする予定。基本理念については、「育てよう、明るい笑顔のやいづっ子」としており、第1期計画から引き継いでいる。基本方針については、5つの方針を柱として行</p>

	<p>く。方針1は、焼津市第6次総合計画において、重要な施策として位置付けている内容を踏まえ、「結婚・妊娠から子育てまでの切れ目のない支援の充実」。方針2は、「幼児教育・保育の充実」。方針3は、「子育てを社会全体で支える環境づくり」。方針4は、「配慮が必要な子どもや家庭への支援の充実」。方針5は、「仕事と家庭のバランスの取れた就労環境づくり」となる。各方針に対して、各施策を定めて行く。方針1においては、経済的支援等の充実、情報提供・相談体制の強化、子どもや母親・父親の健康の確保の3施策。方針2としては、幼児教育・保育の質の確保・向上、幼稚園・保育所から小学校への円滑な接続、教育・保育の適切な量の確保の3施策。方針3としては、子どもの安心と安全の確保、地域子ども・子育て支援事業の充実、放課後児童対策の充実、地域子育て支援体制の充実、地域や家庭での教育力の向上の5施策。方針4については、子どもの貧困対策の推進、障害児対策の充実、児童虐待防止対策の充実、外国人の子どもと保護者への支援・配慮の4施策。方針5については、子育てしやすい就労環境の促進、仕事と子育ての両立の推進の2施策とし、全体として17の施策を定めていく予定。「子どもの安心と安全の確保」、「子どもの貧困対策の推進」、「外国人の子どもと保護者への支援・配慮」の3つは、今回新規で追加する予定の施策。資料2には、骨子案の事業内容（案）を資料として添付している。具体的な事業内容は、確定したものではないが、各施策において、どのような事業の展開が見込まれるのか、第1期計画の事業内容をもとに、まとめたものである。また、「子ども・子育て支援事業計画」は、国の手引きに基づき、アンケート調査の結果を踏まえて、「教育・保育給付」及び「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」を設定し、それに対応する確保の方策と実施時期について、「子ども・子育て会議」に諮りご意見をいただき、定めていくこととなる。今後のスケジュールとしては、今年中に素案を作成し、来年1月に市民へのパブリックコメントを実施し、市民からのご意見を踏まえて、計画を策定する予定となっている。</p>
佐藤教育長	<p>説明が終わりました。これについて、御意見・御質問はどうでしょうか。よろしいですか。それではその他の報告をお願いします。その他の1番、令和元年度公民館まつりの日程について、お願いいたします。</p> <p>(当日配付資料により説明) (説明要旨)</p>
見崎社会教育課長	<p>・10月12日から11月10日まで焼津地区で、大井川地区は2月22・23日に開催する。</p> <p>・公民館で学習に励んできた皆さんが、学習の成果を発表、展示する。また、地域コミュニティ等と連携した様々なイベントも行なわれる。</p>
佐藤教育長	<p>説明が終わりました。これについて、何かありますでしょうか。</p>

石上図書課長	<p>それでは、次に、図書・雑誌などの無償配布の実施について説明をお願いします。</p> <p>(事前配付資料により説明) (説明要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除籍資料の無償配布を焼津図書館で行う。公共施設向けを9月27日(金)、一般向けを9月28日(土)と29日(日)に無償配布を行った。 ・各公民館まつり、ふれあい広場祭り及び消費生活展において除籍本の無償配布を行う。大井川公民館は、公民館まつりと別に行う。 ・来場者数371人、6,178冊用意をし、3,575冊、率として57.9%の本が無償配布された。過去3年間において、高い率となっている。 ・2月に第2回目を開催予定。
佐藤教育長	<p>説明が終わりました。これについて、何かありますでしょうか。</p>
石川ディスカバリーパーク 焼津館長	<p>(当日委員に配付資料により説明)</p> <p>臨時休館とエレベーター休止のお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月2日から1月7日までエレベーター更新工事に伴い臨時休館をする。ホームページ等で広報する。
佐藤教育長	<p>以上で本日の議事は全て終わりましたが、全体をとおして何かありましたらお願いします。</p> <p>よろしいですか。長時間での審議ありがとうございました。</p> <p>次回の開催予定ですけれども、10月16日水曜日、午後3時半からこの会場で行いますのでよろしくお願いします。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">【午後4時42分閉会】</p>